



能登半島地震特集号(資料編)

地震被害状況(31日8:00現在)石川県消防防災Web資料

(1)人的被害・住家被害等(人・棟)

	市・町	死者	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	一部損壊	非住家	地盤沈下
1	金沢市							15	
2	七尾市		7	128	12	15	364	50	
3	小松市							2	
4	輪島市	1	10	81	266	272	456	199	
5	珠洲市			3			8	14	
6	加賀市						6	3	
7	羽咋市			1		2	36	4	
8	かほく市							1	8
9	白山市							1	
10	能美市							3	
11	津幡町			1			2	1	
12	志賀町		4	11	3	39	493	97	
13	宝達志水町						1	1	
14	中能登町		2		3		7	8	
15	穴水町		1	39	16	23	172	27	
16	能登町		1	11			30	16	
	計	1	25	275	300	351	1575	442	8

被害状況から学ぶ

(1)「建物や住宅の倒壊を防げば、犠牲者は大幅に減らせる」

震度6強の地震では「耐震性の低い住宅は倒壊することが多い」と言われている。

今回の場合では、全壊した棟数は少なかった。

雪が多い地方の家は太い柱や梁を使っていることが大きな要因と言える。

特に心配されている都市型地震の備えである建物の「耐震化」は急がなければなりません。

(2)「火災を防げば、犠牲者を大幅に減らせる」

プロパンガスには、震度5以上の揺れで自動消火する「マイコンメーター」装置がついている。

このほか電気による通電火災もなく幸いでした。

被災地の1日も早い復旧・復興を

「能登半島地震」被害状況（31日 8：00 現在）石川県消防防災 Web 資料

(2)避難者等(人)

	市・町	避難勧告	自主避難	避難所数	備考
1	七尾市		9	3	
2	輪島市	4 26日10:00 勧告	984	24	
3	志賀町		54	4	
4	穴水町		70	3	
	計	4	1117	34	

(1) 避難所生活は、特に高齢者にはつらい。

避難所生活者は、合計 1121 名。高齢者が多く不慣れな避難所生活でストレスから健康を損なうケースも出ている。

(2) 避難所は、2市2町（輪島市・七尾市・穴水町・志賀町）で開設されている。

避難所の多くは、公民館となっているがこのほか保育所、児童館、小学校、国民宿舎保健センターなどがある。

その他の被害状況

(1) 停電の状況（26日 18：00 と変化なし）

26日 16：50 停電全て解消 参考：石川県内最大約 11 万戸停電

(2) 断水の状況（31日 7：00 現在 823 世帯）

輪島市 823 世帯（尚、志賀町 18 世帯は減圧給水、夜間 21 時から 5 時給水制限）

(3) 電話の状況（28日 20：00 と変化なし）

輪島市名舟地内で断線発見、約 80 回線が不通、26日 17：50 全て復旧

輪島市役所 10 台、門前支所 10 台、諸岡公民館 5 台を特設公衆電話設置。

その他の避難所 37ヶ所に臨時電話を設置（27日 16：00 完了）

(4) 道路の通行止（30日 9：00 現在）

県道等 7 路線 9ヶ所、北陸自動車道通行可能。

(5) 七尾線は 26日 13：08 から、北陸本線は 25日 20：20 から全線運行再開。

(6) 災害救援車両への措置

能登有料道路、高速道路等を通行する災害救援車両に対して、通行料免除措置を実施

（希望者は、事前に最寄の都道府県又は市町村にお問い合わせ願います。）

(7) 災害ボランティア活動

石川県災害対策ボランティア本部が募集している 31日（土）のボランティアについては所用の人数に達したので募集していない。